

2026 函館大学

受講料無料
参加者募集

公開講座



開催日：前期	令和8年	7月11日(土)	歴史
後期①	令和8年	10月3日(土)	英語
後期②	令和8年	12月12日(土)	経済

詳細は裏面

10:00~12:00 函館大学視聴覚室

◆開催日の前日までにお申し込みください◆

主催：函館大学

後援：函館市教育委員会 キャンパス・コンソーシアム函館 北海道新聞函館支社 函館新聞社

連携講座：キャンパス・コンソーシアム函館 まなびと函館 道民カレッジ

2026

函館大学

公開講座

受講料無料

お気軽にご参加ください

前期講座

田中 浩司 (たなか ひろし)

中世の古文書、史料を読む

～意思・情報はどのように伝えられたのか～

後期講座

① 西前 明 (さいぜん あきら)

英語で絵本を読む

② 参川 城穂 (みかわ くにお)

教養としての複利と金利

—アメリカの国債が教えてくれること

7月11日(土) 中世の古文書、史料を読む

～意思・情報はどのように伝えられたのか～



古文書とは、史料（歴史を解明するための証拠となるもの）のうちで、文字で書かれた、AからBへの意思を伝えた（ことを示す）ものと定義されます。中世（ここでは鎌倉時代～16世紀末）の古文書・史料は、くずし字で書かれたものも多く、とっつきにくいものです。今回は、いくつかの場面を選んで、古文書の解読を通じて、中世の人々の意思・情報の伝え方・やりとりを、皆さんと勉強していきたいと思えます。

英語で

絵本を読む

10月3日(土)

「カエル君とガマ君」「スイミー」「てぶくろ」「三びきのやぎのがらがらどん」などの有名な海外の絵本を英語で読みます。単語の意味と発音、文構造を確認しながら、なるべく丁寧に日本語に訳します。また、AIにこれらの作品のストーリーについて英語と日本語の両方で質問し、感想や意見を聞きます。子供向けの物語文は国語教育の機能を持っており、ことばの基本が見えやすい形で書かれていることが多く、言語学習の優れた教材になります。あらかじめ日本語で読んでおくと英語の理解の助けになると思えます。



12月12日(土)

教養としての複利と金利

—アメリカの国債が教えてくれること

アインシュタインが「人類最大の発明」と称したとされる複利。その仕組みを理解することは、現代社会を生きる上で重要な教養の一つです。本講座では、複利の基本的な考え方から出発し、なぜ米国債の金利が世界経済の重要な指標となるのか、さらにFRBの政策が、私たちの住宅ローン、資産運用、そして円相場にどのような影響を与えるのかを、身近な例を交えて解説します。「72の法則」などの実用的な知識にも触れながら、金融リテラシーの核心に迫ります。難しい数式は一切使いません。日々の暮らしに役立つ「お金の見方」が身につく講座です。

申込先

函館大学・総務課

☎042-0955 函館市高丘町51番1号

Tel (0138) 57-1181

Fax (0138) 57-0298

Email soumu@hakodate-u.ac.jp